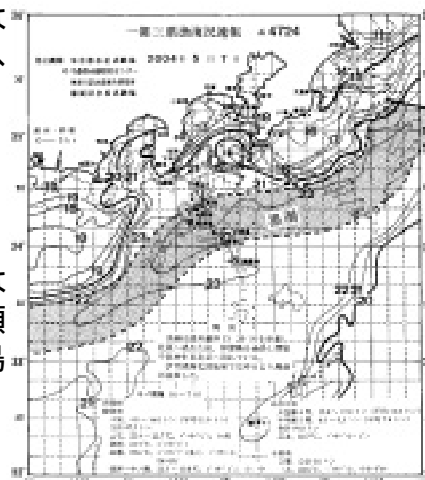


概況(図1, 表1)

5月6~7日に房総丸(110ト)で沿岸定線観測を行った。黒潮流路は遠州灘沖 33°40'Nを東進した後、神津島を通過し、房総沖を東北東へ流れ、流型はN型であった。房総沖の離岸距離は「平年並」であった。



水温(表2, 図2・3・5)

海面では16~22, 100m深では11~20, 200m深では10~18であった。外房海域と銚子・九十九里海域は概ね「やや低め」であった。平年偏差は、全観測層で負の偏差となり、特に野島崎南東沖の海面では-3.4となる観測点があった(観測史上最低の水温)。これらの冷水傾向は、黒潮が犬吠崎南東方から東へ流去していたこと、隣接海域の鹿島灘・常磐海域に親潮系冷水があることが要因として考えられた。

塩分(図4・5)

海面では34.6~34.7, 100m深では34.3~34.8, 200m深では34.4~34.7であった。野島崎南東定線と太東岬南東定線で水深400~800mに34.3以下の塩分極小層があった。

表1 房総沖の黒潮離岸距離(2004年5月)

基点	方向	距離(マイル)	階級
野島崎南東		45	平年並
太東岬南東		45	-
犬吠崎南東		(50)	平年並

* (数字は毎月誌(海上保安庁 海洋誌)より)

表2 水温の評価(2004年5月)

水深(m)	外房海域			銚子・九十九里海域		
	水温	平年偏差	評価	水温	平年偏差	評価
0	17.6	-1.2	やや低め	17.0	-0.9	平年並
50	14.86	-1.71	やや低め	14.19	-2.59	やや低め
100	13.60	-1.82	やや低め	12.54	-2.37	やや低め
200	12.09	-0.72	平年並	10.82	-2.22	やや低め

*水温は各海域の評価点の平均値

流況(図1・2)

沖合域では2ノット以上の流れがみられ、流向は概ね北東~東向きであった。

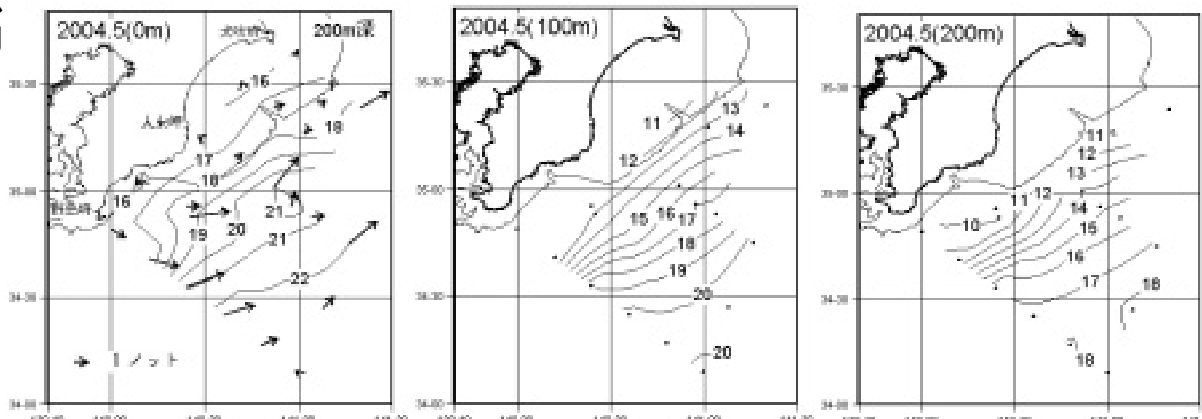


図2 水温と流向流速(5m深)の水平分布

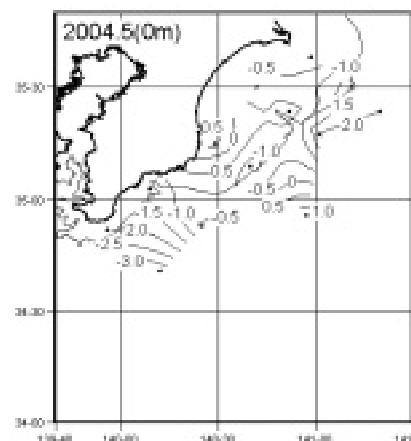


図3 水温の平年偏差

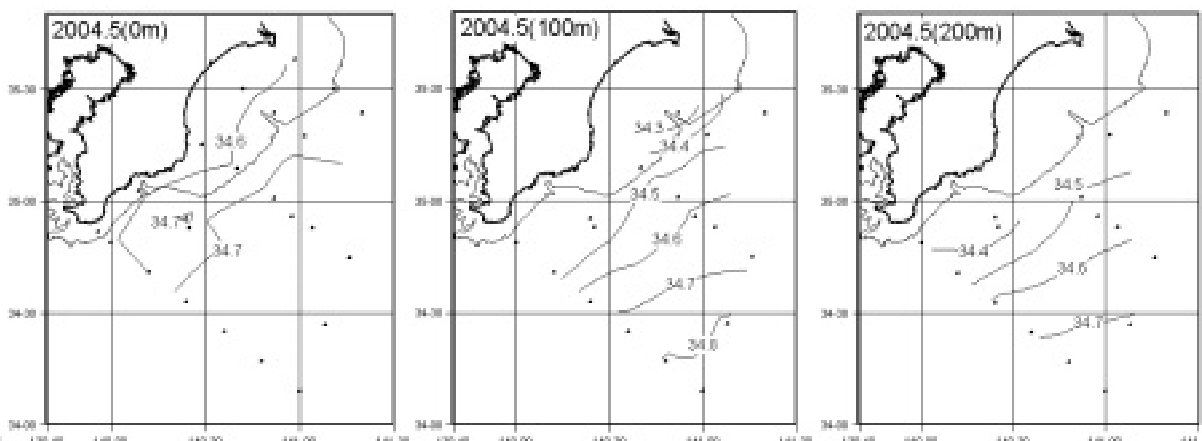


図4 塩分の水平分布

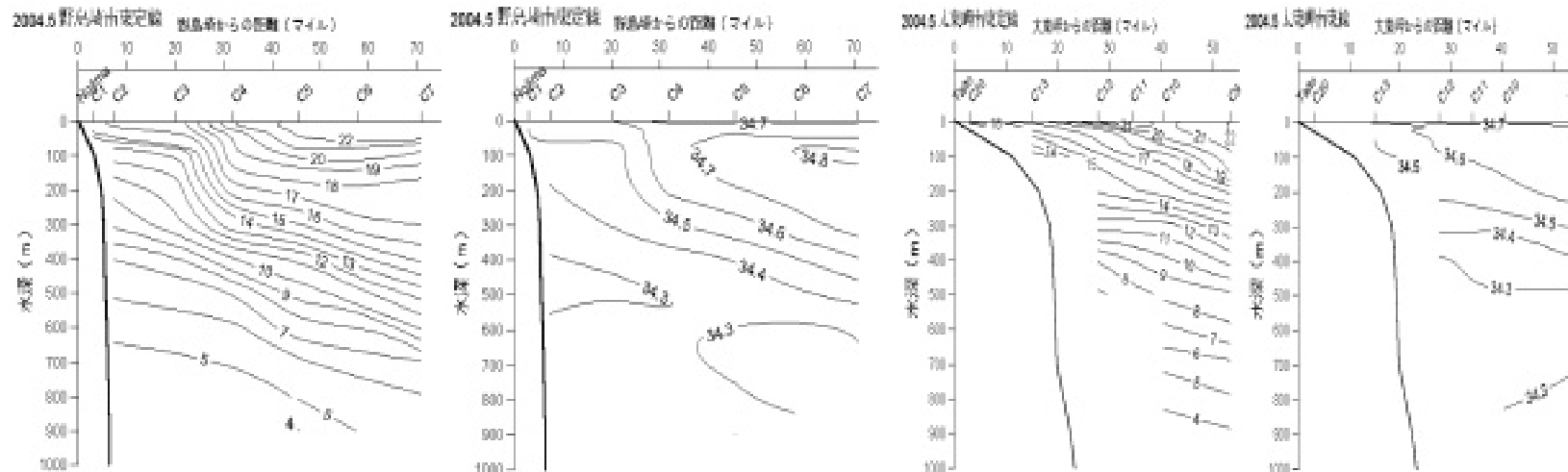


図5 水温と塩分の鉛直分布